

講義名	健康・スポーツ関連企業分析			授業形態	
担当教員	青山 将己 / 与那覇 秀勲	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

わが国は、高度情報化、少子高齢化、人口減少という社会課題を持っているが、このような社会課題を克服し、持続可能な社会づくりを進めることが求められている。このような社会課題の克服を進めるうえで、アクティブライフ（主体的・活動的・健康的な生き方）を実践できる人口の拡大が求められている。

このような背景の中、健康・スポーツ関連企業の発展と市場拡大が予測される。それゆえ、健康・スポーツ関連企業の現状と今後の動向を探ることは、就職活動並びにスポーツ界の将来展望を考えるうえで、重要である。本講義では、さまざまなグループワーク手法を導入し、学生が主体的に学び、コミュニケーション力・プレゼンテーション能力を高めながら、分析力を高めることを目的とする。

到達目標

本講の到達目標は、次の3項目である。

- 知識・理解：健康・スポーツに関連する企業について知り、事業やマネジメントを理解できるようになる。
- 思考・判断：健康・スポーツ関連企業の事業やマネジメントの強みと弱みを判断できるようになる。
- 関心・意欲・技術：健康・スポーツ関連企業の事業に関心を持ち、主体的な探求により、その成果をプレゼンし、議論ができるようになる。

提出課題

毎回の授業において、その日に学んだことを振り返り、知識や感想をレスポンスにより、提出する。
グループワークは、その都度、授業の終わりに提出する。
最終レポートを提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

前回の授業で提出されたレスポンスは、授業はじめての振り返りにおいて、講評する。また、グループワークのプレゼンは、授業の終わりに、強みと弱みを講評する。

評価の基準

プレゼン（40%）、最終レポート（20%）、出席・受講態度・リーダーシップ（40%）。講義中の質問と教員からの質問へのGood Answerは加点する。

履修にあたっての注意・助言他

遅刻者は、開始後15分以内とし、静かに着席すること。遅刻回数は減点対象とする。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

健康・スポーツ関連企業、および方法論に関する動画を使用する。

授業計画

- オリエンテーション
- 企業比較分析
- 企業比較分析
- PLC分析
- PLC分析
- KJ法
- KJ法
- KJ法
- KJ法
- 神戸マラソン 競的データ分析
- 神戸マラソン 競的データ分析
- 神戸マラソン 競的データ分析
- 神戸マラソン 競的データ分析
- 神戸マラソン 競的データ分析 発表会
- まとめ・振り返り

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/>	A：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/>	I：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/>	U：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/>	E：グループワーク
<input type="checkbox"/>	O：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	C：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/>	K：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習：2時間
次週のシラバスを確認し、参考文献・ネット等でその内容を事前に把握する。
- 復習：2時間
授業における配布資料を再度、目を通し、必要なポイントを確認する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義を通して、子どもから高齢者までの広範囲にわたる健康分野に関する基礎知識を身につけ、健康・スポーツ関連産業の理解を深めることができることから、本学部のディプロマポリシーの達成に大きく貢献できる科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

考える授業を導入し、授業中に質問し、解答したことを加点する。また、レスポンスの内容を吟味し、質問や疑問に対して、回答するようにする。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
スポーツイベントの運営、イベントにおける質問紙調査の実施と分析など。

備考